



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括
四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

(氏名) 伊藤 和夫
(氏名) 山戸 康彦

TEL 03-3664-3980

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,357	2.5	△63	—	△53	—	△19	—
26年3月期第1四半期	2,299	27.1	114	—	112	—	269	64.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.89	—
26年3月期第1四半期	12.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	17,296	9,918	57.3
26年3月期	17,641	9,994	56.7

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 9,918百万円 26年3月期 9,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	2.4	50	88.3	40	319.2	30	△90.1	1.37
通期	9,600	1.9	300	29.9	250	△13.8	150	180.3	6.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	21,974,000 株	26年3月期	21,974,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	137,654 株	26年3月期	137,248 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	21,836,421 株	26年3月期1Q	21,839,313 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策に伴う効果を背景に、消費税増税による個人消費の落ち込みはあったものの、企業業績は総じて堅調に推移しております。が一方では、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化や地域紛争が勃発するなど、今後の見通しについては、不透明感が拭えない状況となっております。

化学工業におきましても、更なる原燃料の高騰やそれに伴う光熱費の上昇により、収益が圧迫される傾向が強まっており、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況下、当社は当期で2年目を迎えた3カ年の中期経営計画の達成に向けて、引き続きアミノ酸・化成品関係の医薬中間体・原料を始め、医薬品関係（ジェネリックを含む原薬）を成長ドライバーとし、早期に成長軌道に乗せるべく取り組んでおります。当第1四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同期比2.5%増の2,357百万円となりましたが、利益面では原燃料価格の上昇等の影響により、営業損失は63百万円（前年同期は114百万円の営業利益）、経常損失は53百万円（前年同期は112百万円の経常利益）となりました。その結果、投資有価証券売却益を計上したものの、四半期純損失は19百万円（前年同期は269百万円の四半期純利益）となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成26年3月期第1四半期累計期間				平成27年3月期第1四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	313	786	1,099	47.9	307	728	1,035	43.9
化成品関係	580	140	721	31.3	653	204	857	36.4
医薬品関係	370	108	479	20.8	376	87	463	19.7
合計	1,264	1,035	2,299	100.0	1,337	1,020	2,357	100.0
構成比(%)	55.0	45.0	100.0		56.7	43.3	100.0	

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【アミノ酸関係】

アミノ酸関係の輸出はほぼ前年同期と同様に推移しておりますが、一部ビタミン原料の輸出が減ったため、売上高は前年同期に比べ若干減少いたしました。

【化成品関係】

船底塗料用原料ならびにタイヤ用接着剤原料の販売が輸出を中心に大きく伸びたうえに、医薬品原料として用いられるピリジン誘導体や半導体表面処理剤などの国内販売が好調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

【医薬品関係】

ジェネリックならびに新薬の販売は増加したものの、既存品の販売が落ち込んだことにより、売上高は前年同期に比べ若干減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

（流動資産）

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から314百万円減少し、8,370百万円となりました。これは主に、製品、仕掛品、原材料、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

（固定資産）

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から30百万円減少し、8,926百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から296百万円減少し、3,466百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から26百万円増加し、3,910百万円となりました。これは主に、退職給付引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から75百万円減少し、9,918百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、緩やかながらも景気回復基調で推移すると思われる一方で、原燃料価格の高騰や新興国経済の成長鈍化など、企業を取り巻く環境は引き続き不透明な状況が続くと思われま

す。このような状況の中、当社は前期からスタートさせた3ヵ年の中期経営計画の達成に向けて、全社一丸となって取り組むことで収益力の向上を図り、早期に成長軌道に乗せてまいります。

現時点における当社の平成27年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。割引率の決定方法についても、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

その結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が36,037千円増加し、利益剰余金が23,287千円減少しております。

また、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,943	1,691,236
受取手形及び売掛金	2,761,501	2,701,476
製品	2,523,221	2,474,085
仕掛品	555,895	486,053
原材料	856,555	765,635
その他	341,385	252,188
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	8,685,203	8,370,375
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,379,734	1,367,441
機械及び装置(純額)	1,149,901	1,133,978
土地	3,181,828	3,181,828
その他(純額)	897,622	902,342
有形固定資産合計	6,609,087	6,585,591
無形固定資産	92,355	86,285
投資その他の資産		
投資有価証券	1,958,918	2,004,090
その他	296,299	250,195
投資その他の資産合計	2,255,217	2,254,286
固定資産合計	8,956,660	8,926,163
資産合計	17,641,863	17,296,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,482,268	1,495,343
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	336,000	336,000
未払法人税等	194,351	3,917
賞与引当金	160,350	73,941
固定資産解体引当金	60,600	60,600
その他	729,563	696,819
流動負債合計	3,763,133	3,466,620
固定負債		
社債	89,500	89,500
長期借入金	1,966,000	1,957,000
再評価に係る繰延税金負債	697,655	697,655
退職給付引当金	759,507	801,310
資産除去債務	14,109	14,148
その他	357,698	351,303
固定負債合計	3,884,470	3,910,918
負債合計	7,647,604	7,377,539

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,728,834	2,620,529
自己株式	△44,512	△44,617
株主資本合計	9,405,462	9,297,052
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	602,515	635,659
繰延ヘッジ損益	△2,435	△2,428
土地再評価差額金	△11,283	△11,283
評価・換算差額等合計	588,796	621,946
純資産合計	9,994,259	9,918,999
負債純資産合計	17,641,863	17,296,538

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,299,940	2,357,314
売上原価	1,735,890	2,000,344
売上総利益	564,050	356,969
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	93,113	86,608
賞与引当金繰入額	16,470	18,726
退職給付費用	8,798	9,117
研究開発費	108,171	69,966
その他	223,366	236,471
販売費及び一般管理費合計	449,920	420,890
営業利益又は営業損失(△)	114,129	△63,921
営業外収益		
受取利息	199	196
受取配当金	15,966	17,663
助成金収入	—	7,200
雑収入	3,301	3,130
営業外収益合計	19,466	28,190
営業外費用		
支払利息	11,051	14,441
社債利息	1,132	656
休止固定資産減価償却費	8,031	—
雑損失	1,121	2,907
営業外費用合計	21,337	18,005
経常利益又は経常損失(△)	112,258	△53,735
特別利益		
受取補償金	297,980	—
投資有価証券売却益	—	19,230
特別利益合計	297,980	19,230
特別損失		
固定資産除却損	5,145	5,325
特別損失合計	5,145	5,325
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	405,093	△39,830
法人税等	135,376	△20,322
四半期純利益又は四半期純損失(△)	269,716	△19,507

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。